

第45号

令和3年6月4日



Aigo~愛護~



向暑の候、夏の日差しを感じるようになりました。愛護会の皆様には、日頃から多くの公園維持管理に御協力いただき感謝申し上げます。また、今年度も公園愛護会交付金申請と総会書面議決書の提出にご協力いただき、ありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。

さて、今回は、3月に新しく新区画が完成した江戸見附緑地についてご紹介いたします。

江戸見附緑地の新区画が完成しました！

見附台周辺地区整備に伴い、江戸見附緑地（平塚市見附町1-1）が区域変更され、令和3年3月15日に新区画が完成しました。既存の崇公民館前の区画に加え、交差点を挟み反対側に、新区画の面積が増えました。



平塚宿の江戸方見附

江戸見附緑地は、周囲に江戸時代の東海道の面影を再現するため、平成14年2月に都市公園として開設されました。平塚宿は、東海道五十三次のうち江戸日本橋から7番目の宿場町でした。当時は東西に約1.5km続いており、公家・大名・役人・家来などの宿屋、商売を営むお店、200軒を超える住居などがありました。「見附」とは、城門の見張所の意味で、城下に入る人々を監視する役目を果たしました。また、見附から正式に宿内に入ることを示す施設でもあり、宿と宿の間の距離はこの見附を基準とされていました。平塚宿の見附は2か所あり、江戸側の出入り口にあるものを江戸方見附、京側にあるものを上方見附と呼びました。